

名古屋市における平成 16 年度化学物質の排出量等の届出集計結果

集計数値は、有効数字 2 桁で記載

1 届出制度の概要

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（P R T R 法）及び市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例（条例）の届出の概要については、以下の表のとおりです。

<表 1 P R T R 法と条例の比較>

		P R T R 法	条例
届出要件	業種	製造業等 23 業種	
	従業員数	事業者が常時使用する従業員数（全社の合計）が 21 人以上	
	対象化学物質	P R T R 法で定める 354 物質	
	年間取扱量	1 トン以上 （ベンゼン等 12 物質については 0.5 トン以上）	
	その他	特別要件施設(*1) （年間取扱量に関わらず対象）	
届出内容		排出量(*2)及び移動量(*3)	取扱量(*4)

(1)特別要件施設

廃棄物処理施設や下水道終末処理施設など

(2)排出量

事業所から大気や公共用水域などの環境中へ排出した量

(3)移動量

廃棄物として事業所の外へ移動した量及び下水道へ移動した量

(4)取扱量

事業所で製造及び使用した量

2 排出量及び移動量並びに取扱量の届出の状況

平成 16 年 4 月から翌年 3 月までの 1 年間の排出量及び移動量について、全市で 576 事業所から届出がありました。前年度の届出件数（583 事業所）と比較すると 7 事業所減少しました。また、取扱量について届出があった事業所数は、537 事業所でした。なお、取扱量については、今回が初めての集計になります。また、特別要件施設は、条例の対象外です。

<表 2 前年度との届出件数の比較>

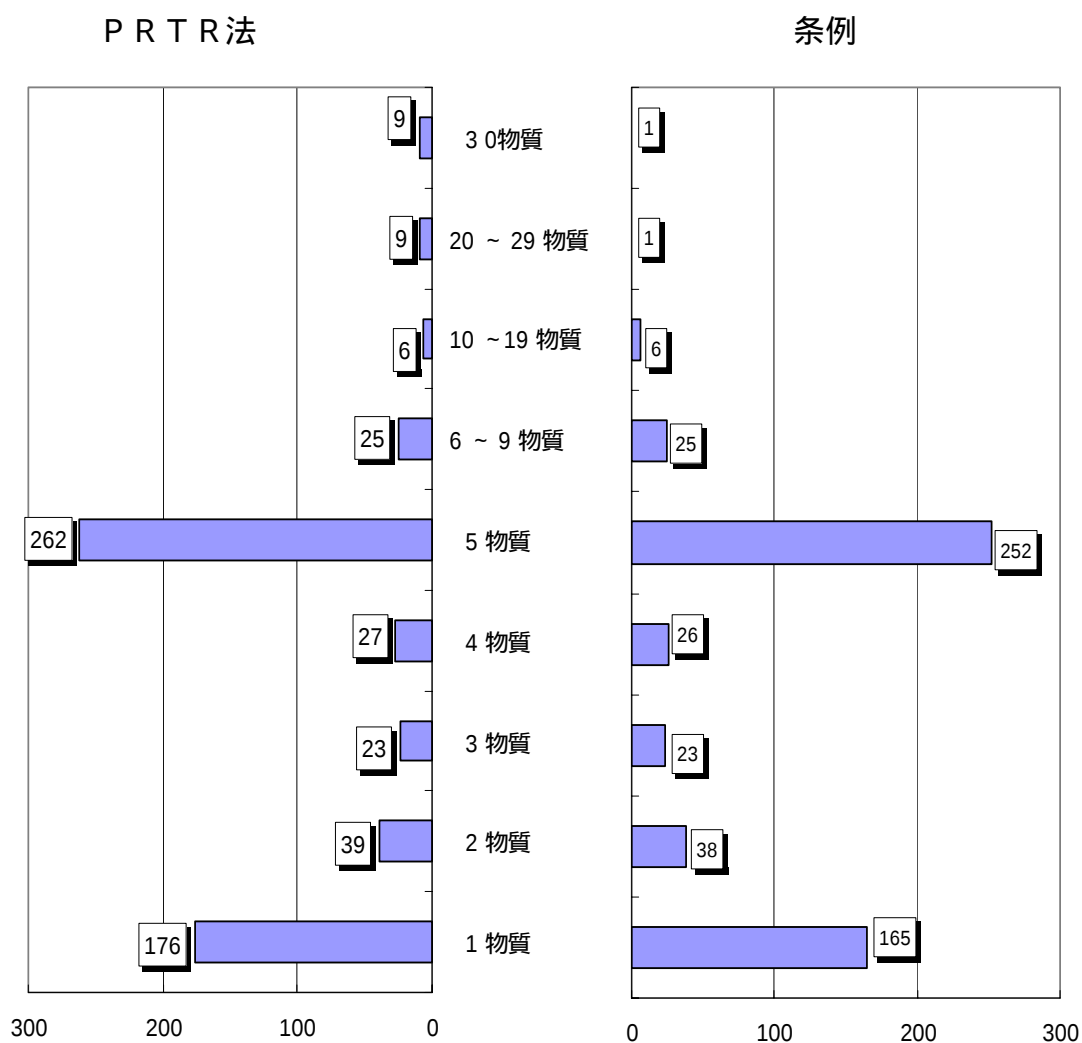
項目	届出事業所数	
	平成 16 年度	平成 15 年度
排出量及び移動量	5 7 6	5 8 3
取扱量	5 3 7	—

(1) P R T R 法及び条例の一事業所あたりの届出物質数

一事業所あたりの届出物質数は、図 1 のとおりです。

5 物質が最も多く次いで、1 物質、2 物質の順となっています。P R T R 法の一事業所あたりの届出物質数の平均は 4.4 物質となっています。また、条例の一事業所あたりの届出物質数の平均は、3.6 物質となっています。

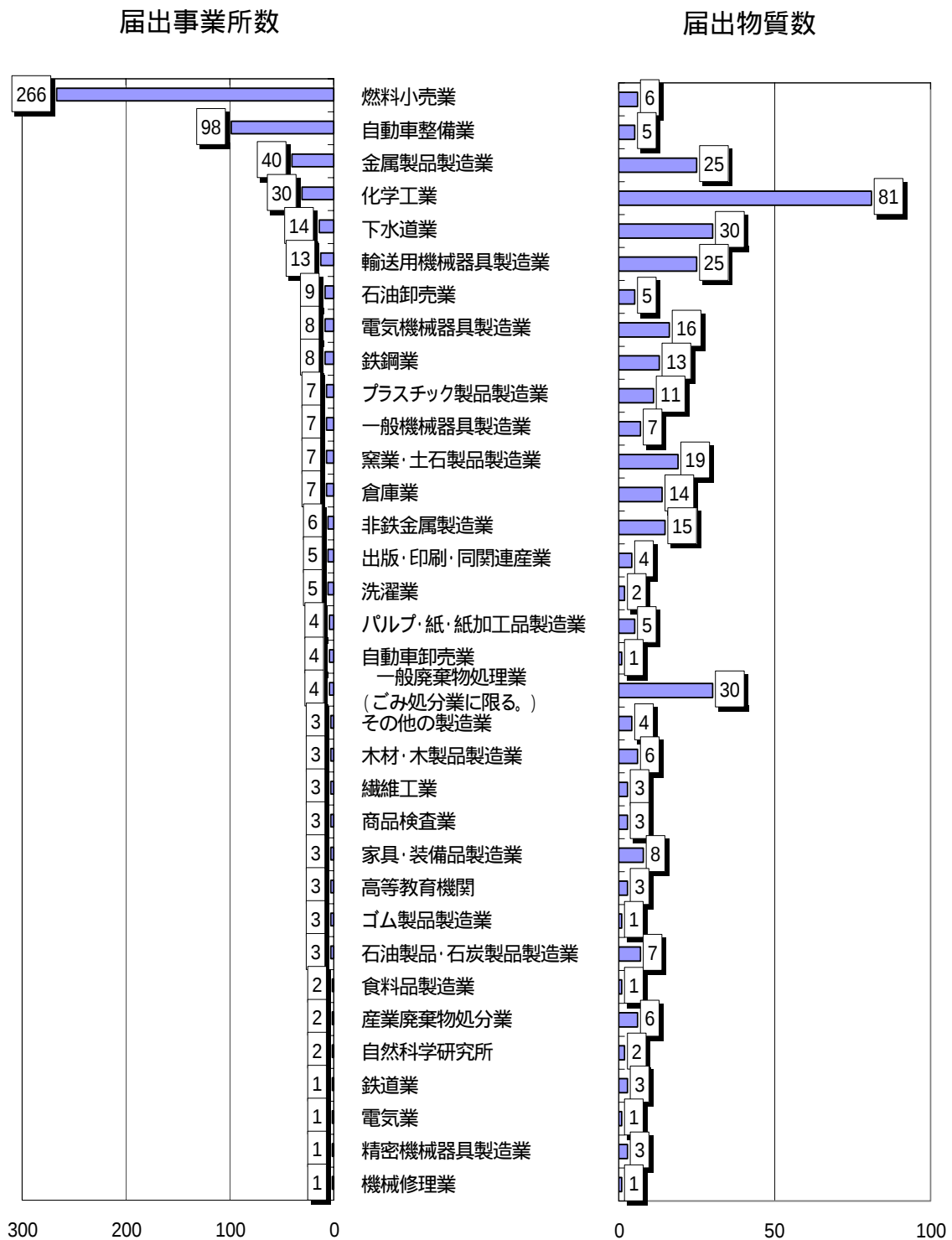
<図 1 一事業所あたりの届出物質数>



(2) 業種別の届出の状況

P R T R 法の業種別の届出事業所数と届出物質数は、図 2 のとおりです。
条例の届出においても同様の傾向となっています。

< 図 2 業種別の届出事業所数及び届出物質数 >



2 集計結果の概要

平成 16 年 4 月から翌年 3 月までの 1 年間の排出量等の全市及び区別の集計結果は、以下のとおりです。

(1) 全市の届出排出量・移動量・取扱量

ア 届出排出量・移動量・取扱量

平成 16 年度の届出取扱量は、980,000 トンでした。

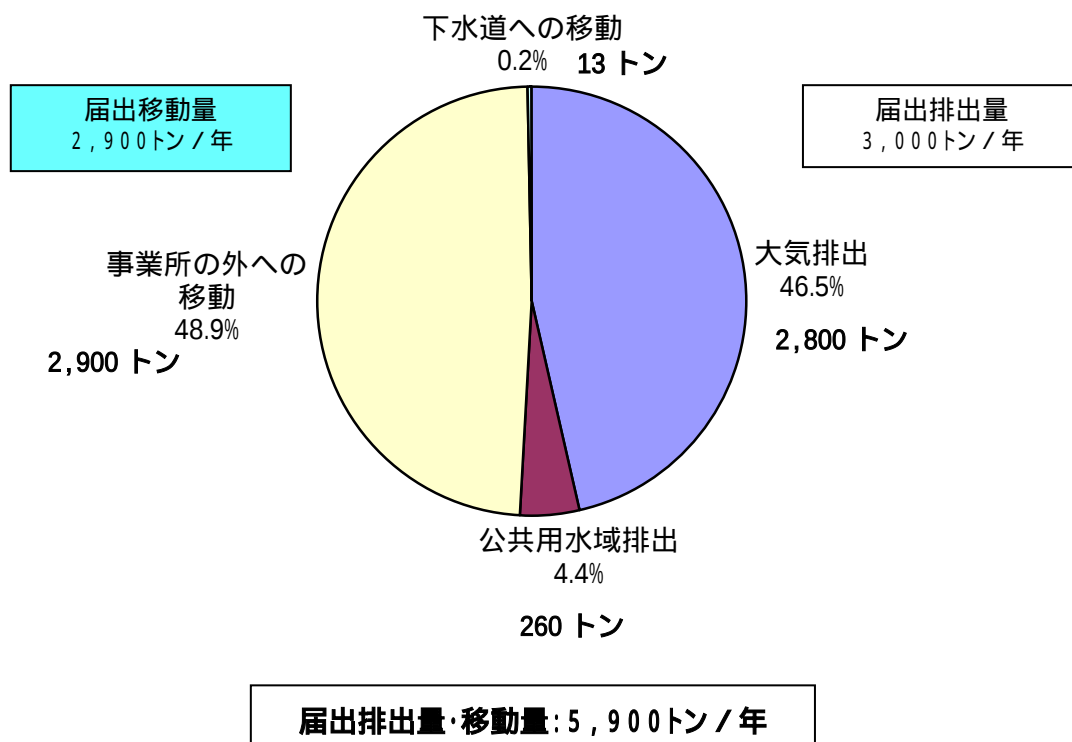
届出排出量・移動量の合計は、5,900 トンであり、取扱量の 0.6% でした。平成 15 年度の届出排出量・移動量の合計は 6,200 トンと比較すると 300 トン減少しました。

排出量は 3,000 トンであり、平成 15 年度の 3,200 トンと比較すると 200 トン減少しました。

移動量は 2,900 トンであり、平成 15 年度の 3,000 トンと比較すると 100 トン減少しました。

なお、土壌への排出及び当該事業所内での埋立て処分の届出はありませんでした。

< 図 3 届出排出量・移動量の内訳 >



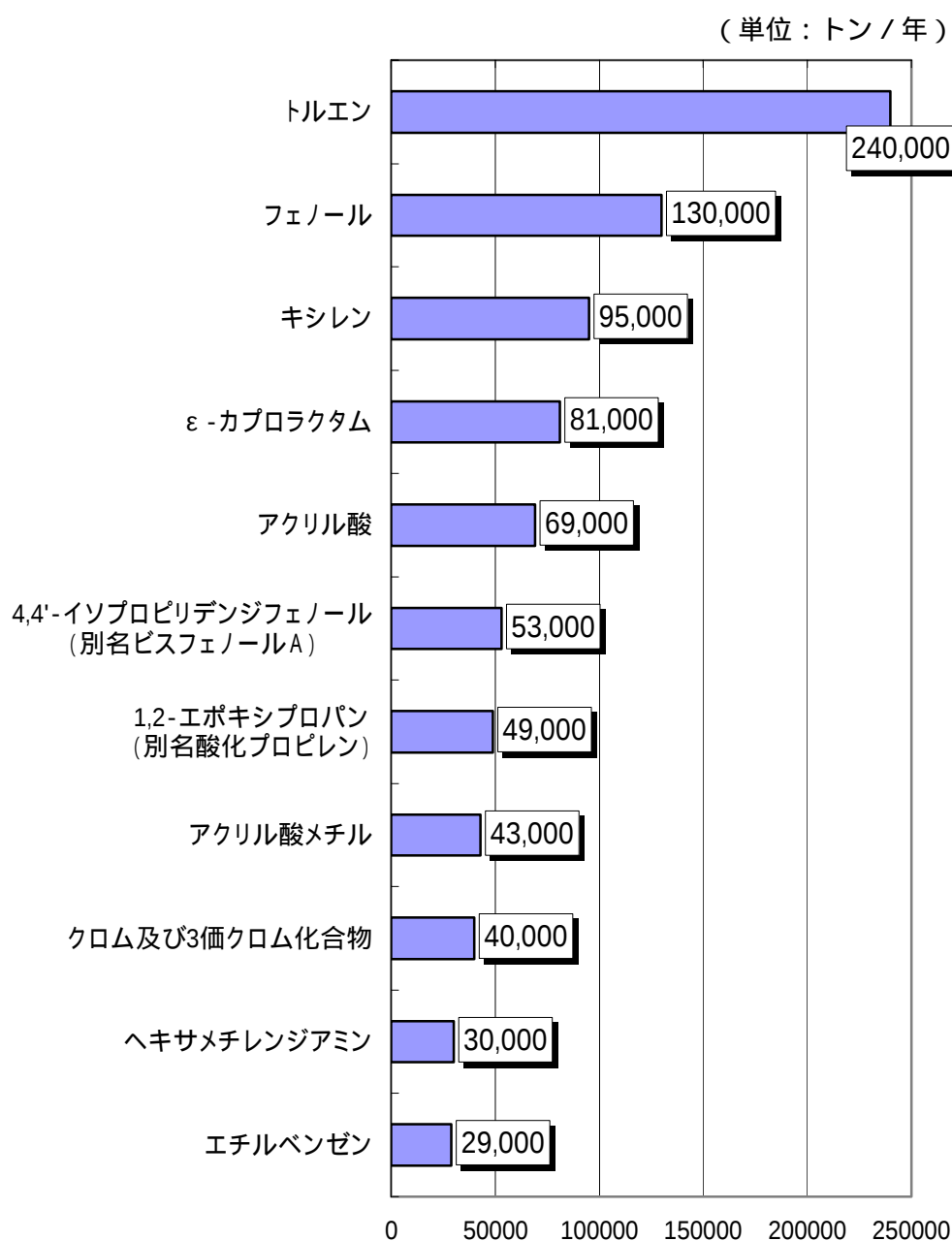
イ 届出取扱量の多い物質

届出取扱量の多い上位 10 物質とその取扱量は、図 4 のとおりです。

届出取扱量の多い順にトルエンの 240,000 トン、フェノールの 130,000 トン、キシレンの 95,000 トン、 ε -カプロラクタムの 81,000 トン、アクリル酸の 69,000 トンの順となっています。

これらの物質の主な用途は、トルエンやキシレンは、溶剤や合成原料として、フェノールは合成原料として使用されています。

< 図 4 届出取扱量の多い上位 10 物質とその取扱量 >



ウ 届出排出量の多い物質

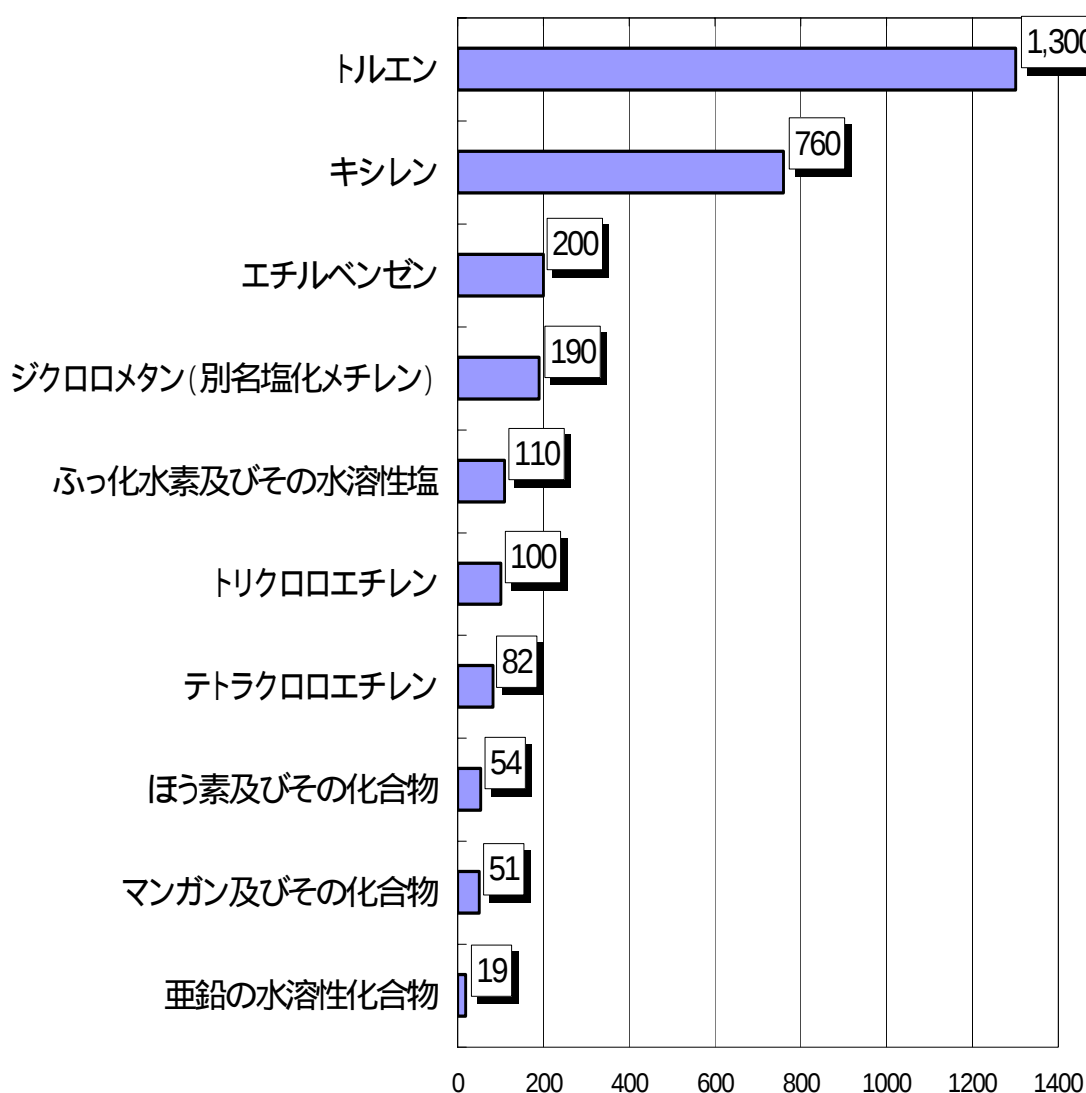
届出排出量の多い上位 10 物質とその排出量は、図 5 のとおりです。

届出排出量の多い順にトルエンの 1,300 トン、キシレンの 760 トン、エチルベンゼンの 200 トン、ジクロロメタン（別名：塩化メチレン）の 190 トン、ふっ化水素及びその水溶性塩の 110 トンの順となっています。

これらの物質の主な用途は、トルエンやキシレン、エチルベンゼンは溶剤や合成原料として使用されています。

< 図 5 届出排出量の多い上位 10 物質とその排出量 >

（単位：トン／年）



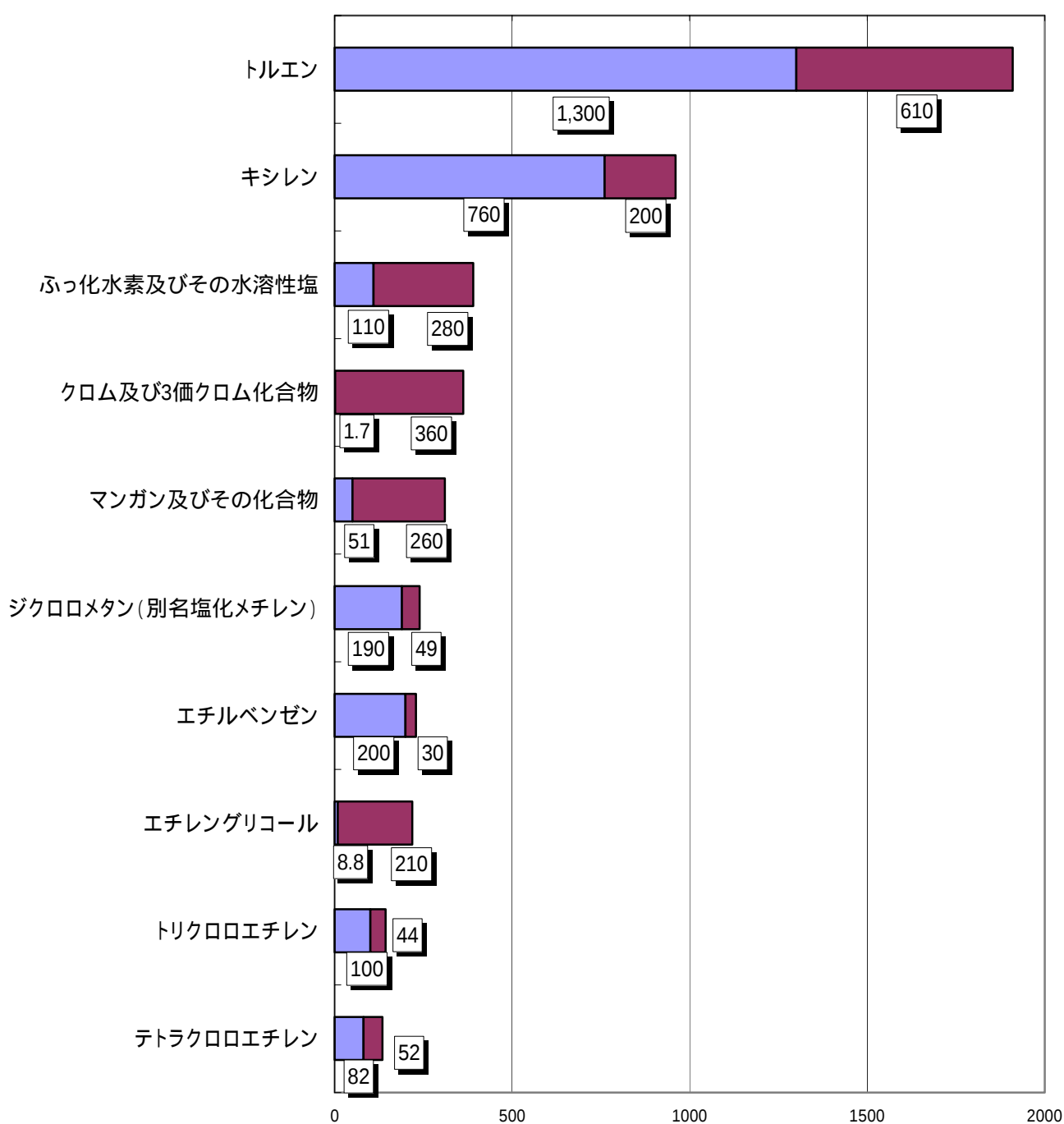
エ 届出排出量・移動量の合計の多い物質

届出排出量・移動量の合計の多い上位 10 物質は、図 6 のとおりです。

届出排出量・移動量の合計の多い順にトルエンの 1,900 トン、キシレンの 960 トン、ふっ化水素及びその水溶性塩の 380 トン、クロム及び 3 価クロム化合物の 370 トン、マンガン及びその化合物の 320 トンの順となっています。

< 図 6 届出排出量・移動量の合計の多い上位 10 物質とその量 >

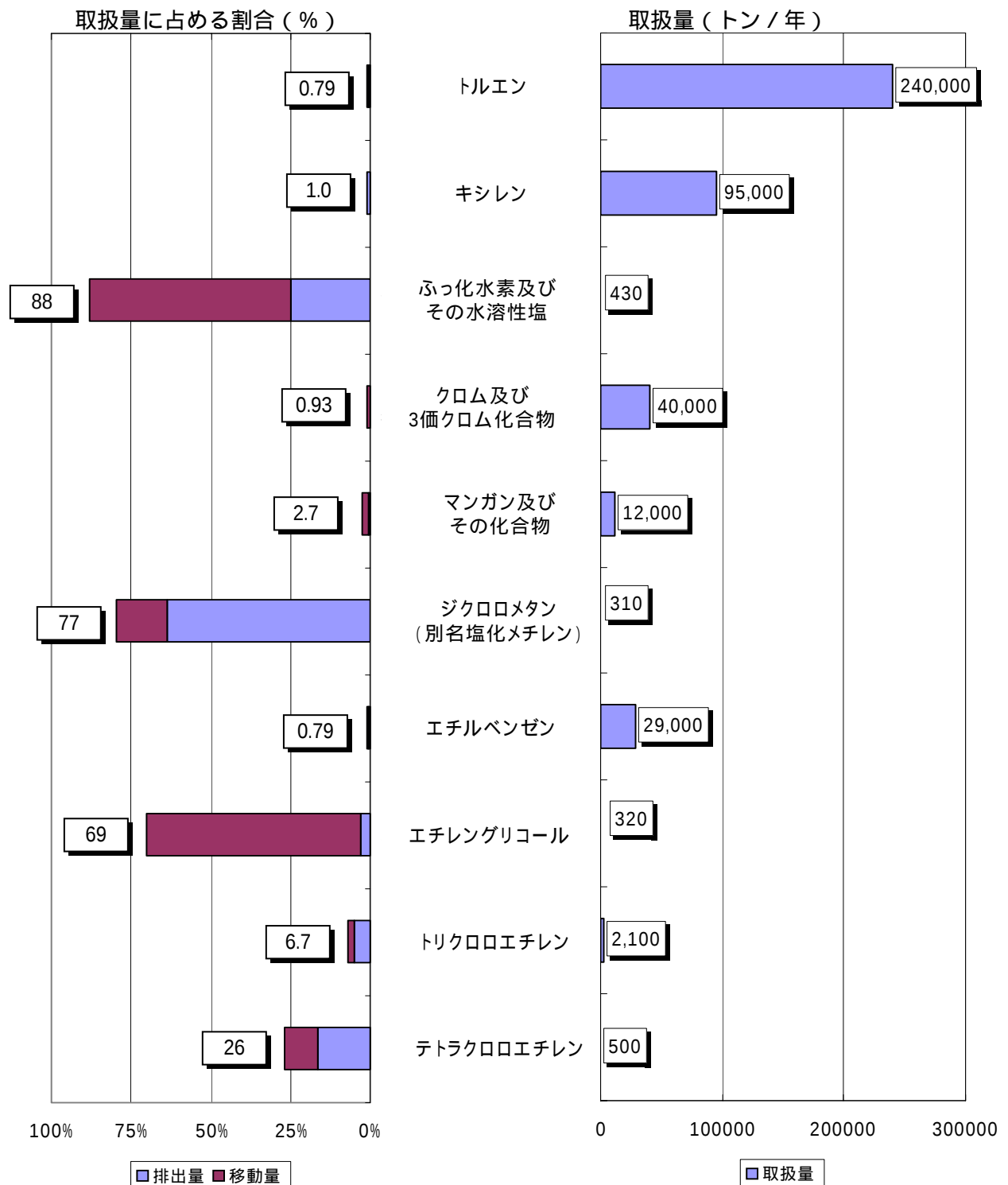
(単位：トン/年)



届出排出量・移動量の多い物質とその取扱量

届出排出量・移動量の合計の多い上位 10 物質とその取扱量は、図 7 のとおりです。

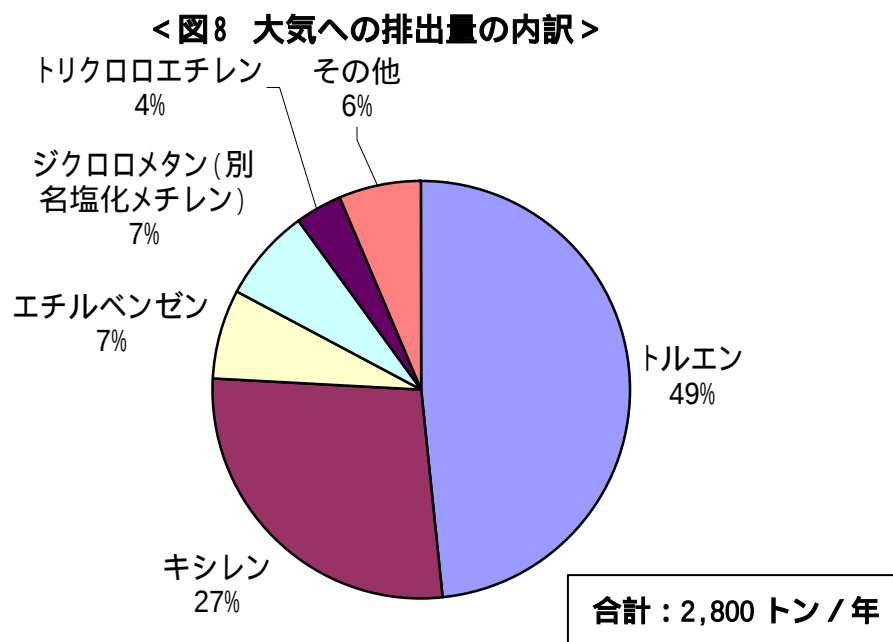
< 図 7 排出量・移動量の合計の多い上位 10 物質の取扱量に占める割合 >



カ 媒体別の届出排出量及び移動量

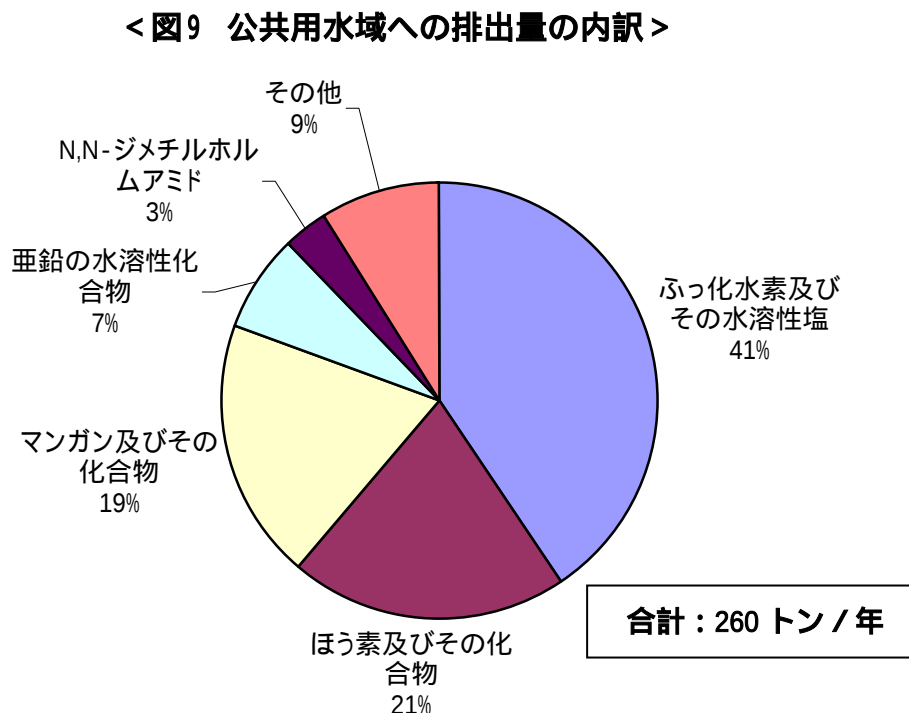
a 大気への届出排出量

大気への届出排出量は 2,800 トンで、最も多く大気へ排出された物質はトルエンの 1,300 トン、次いでキシレンの 760 トン、エチルベンゼンの 200 トンの順となっています。



b 公共用水域への届出排出量

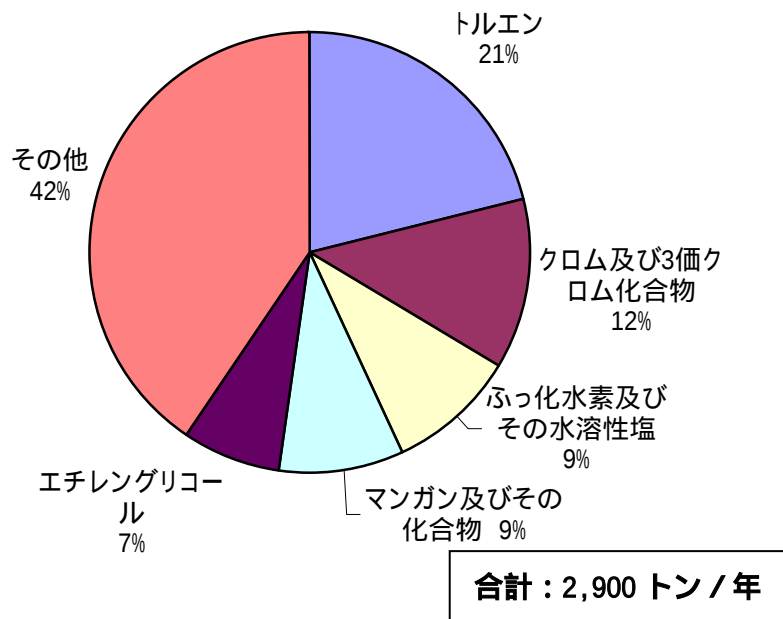
公共用水域への届出排出量は 260 トンで、最も多く公共用水域へ排出された物質はふっ化水素及びその水溶性塩の 110 トン、次いでほう素及びその化合物の 54 トン、マンガン及びその化合物の 51 トンの順となっています。



c 事業所の外への廃棄物としての届出移動量

事業所の外への廃棄物としての届出移動量は 2,900 トンで、最も多く廃棄物として移動した物質はトルエンの 610 トン、次いでクロム及び3価クロム化合物の 360 トン、ふっ化水素及びその水溶性塩の 270 トンの順となっています。

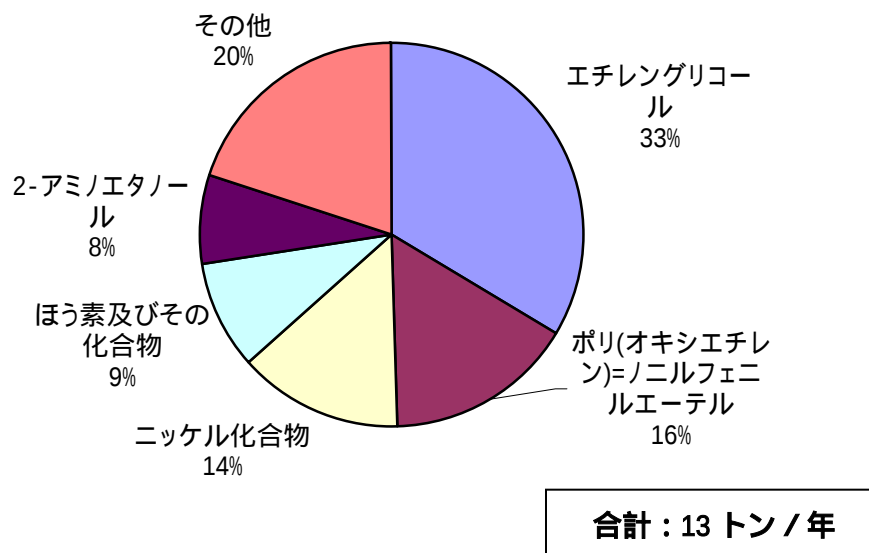
< 図 10 事業所外への廃棄物としての移動量の内訳 >



d 下水道への届出移動量

下水道への届出移動は 13 トンで、最も多く下水道へ移動した物質はエチレングリコールの 4.3 トン、次いでポリ（オキシエチレン）= ノニルフェニルエーテルの 2.0 トン、ニッケル化合物の 1.8 トンの順となっています。

< 図 11 下水道への移動量の内訳 >



キ 業種別の届出排出量・移動量・取扱量

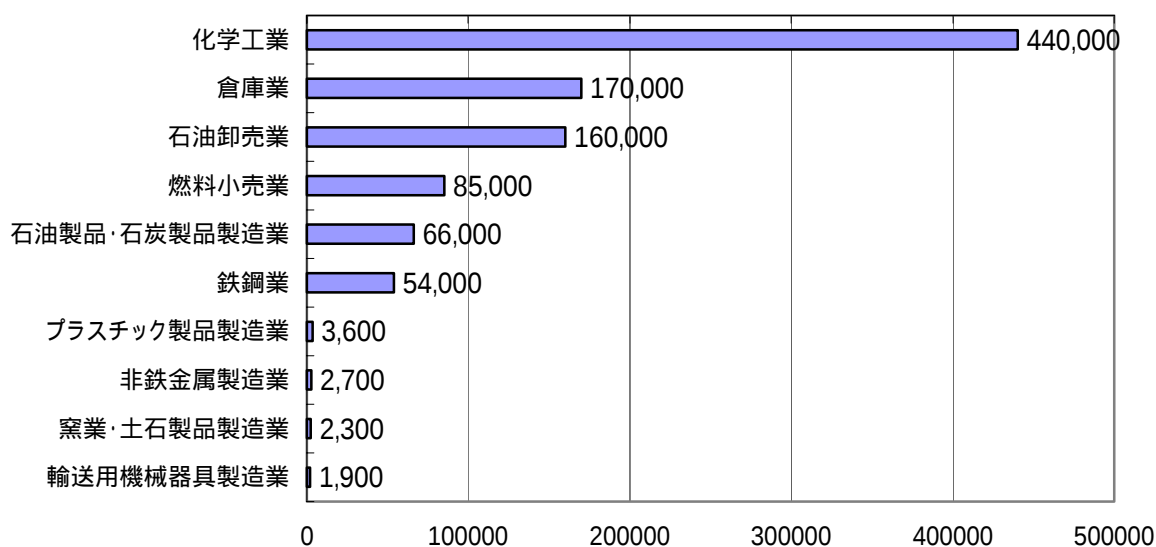
a 届出取扱量の多い業種

届出取扱量の合計の多い上位 10 業種は、図 12 のとおりです。

届出排出量が最も多いのは、化学工業の 440,000 トン、次いで倉庫業の 170,000 トン、石油卸売業の 160,000 トンの順となっています。

< 図 12 取扱量の多い上位 10 業種とその量 >

(単位：トン/年)



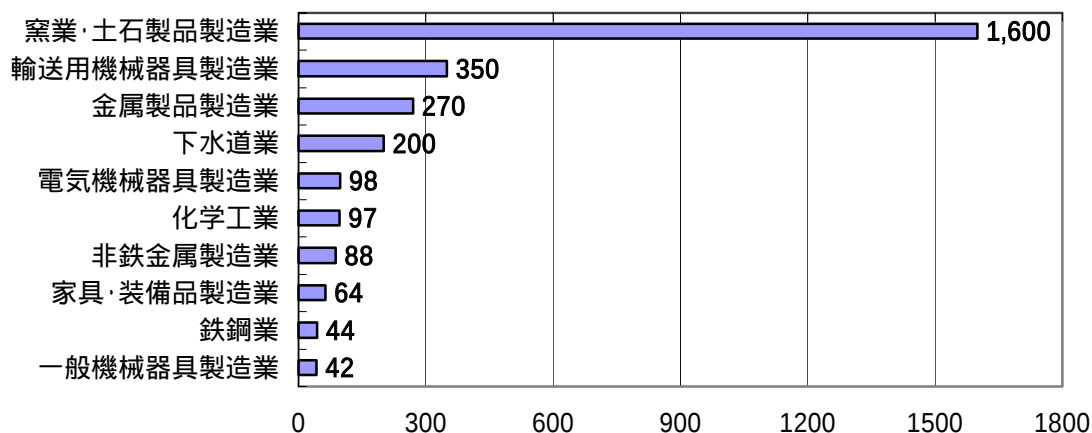
b 届出排出量の多い業種

届出排出量の合計の多い上位 10 業種は、図 13 のとおりです。

届出排出量が最も多いのは、窯業・土石製品製造業の 1,600 トン、次いで輸送用機械器具製造業の 350 トン、金属製品製造業の 270 トンの順となっています。

< 図13 排出量の多い上位10業種とその量 >

(単位：トン/年)

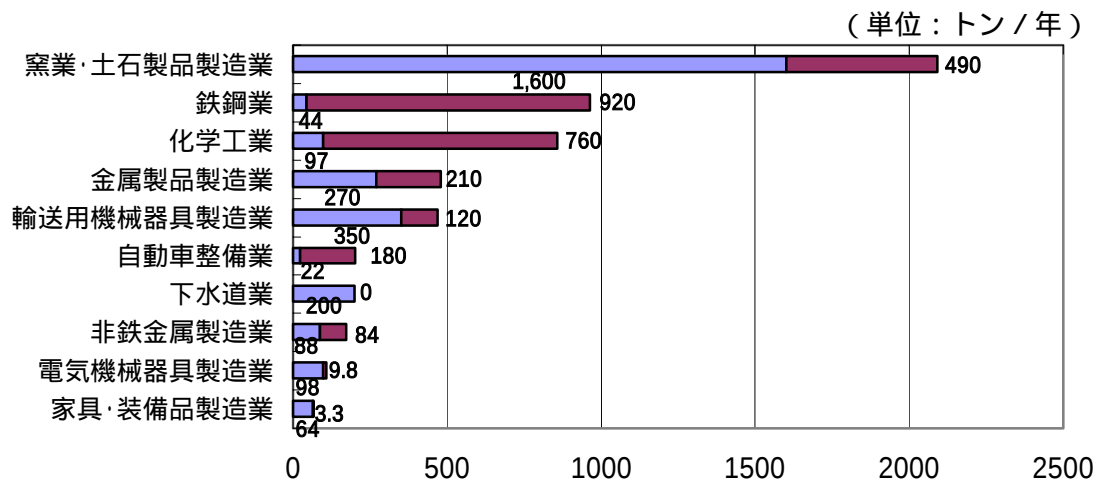


c 届出排出量・移動量の合計の多い業種

届出排出量・移動量の合計の多い上位 10 業種の合計は、図 14 のとおりです。

届出排出量・移動量の合計が最も多いのは、窯業・土石製品製造業の 2,100 トン、次いで、鉄鋼業の 970 トン、化学工業の 860 トンの順となっています。

< 図14 排出量・移動量の合計が多い上位10業種とその量 >

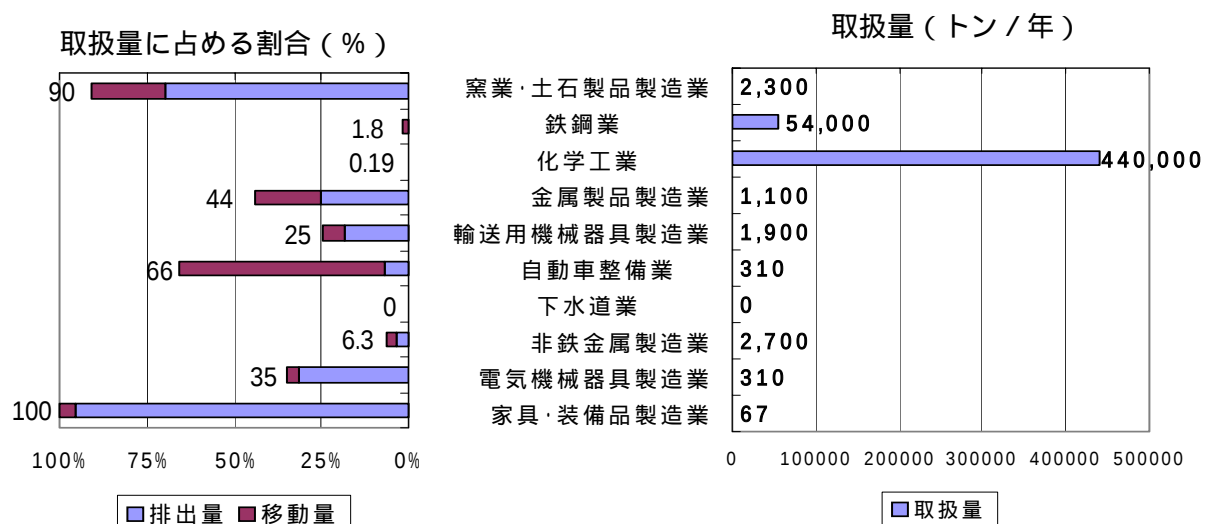


d 届出排出量・移動量の合計の多い業種とその取扱量

届出排出量・移動量の合計の多い上位 10 業種とその取扱量は、図 15 のとおりです。

届出排出量・移動量の合計が最も多いのは、窯業・土石製品製造業の 2,100 トン、次いで、鉄鋼業の 970 トン、化学工業の 860 トンの順となっています。また、取扱量は、窯業・土石製品製造業が 2,300 トン、鉄鋼業が 54,000 トン、化学工業が 440,000 トンとなっています。

< 図 15 排出量・移動量の合計の多い上位 10 業種の取扱量に占める割合 >



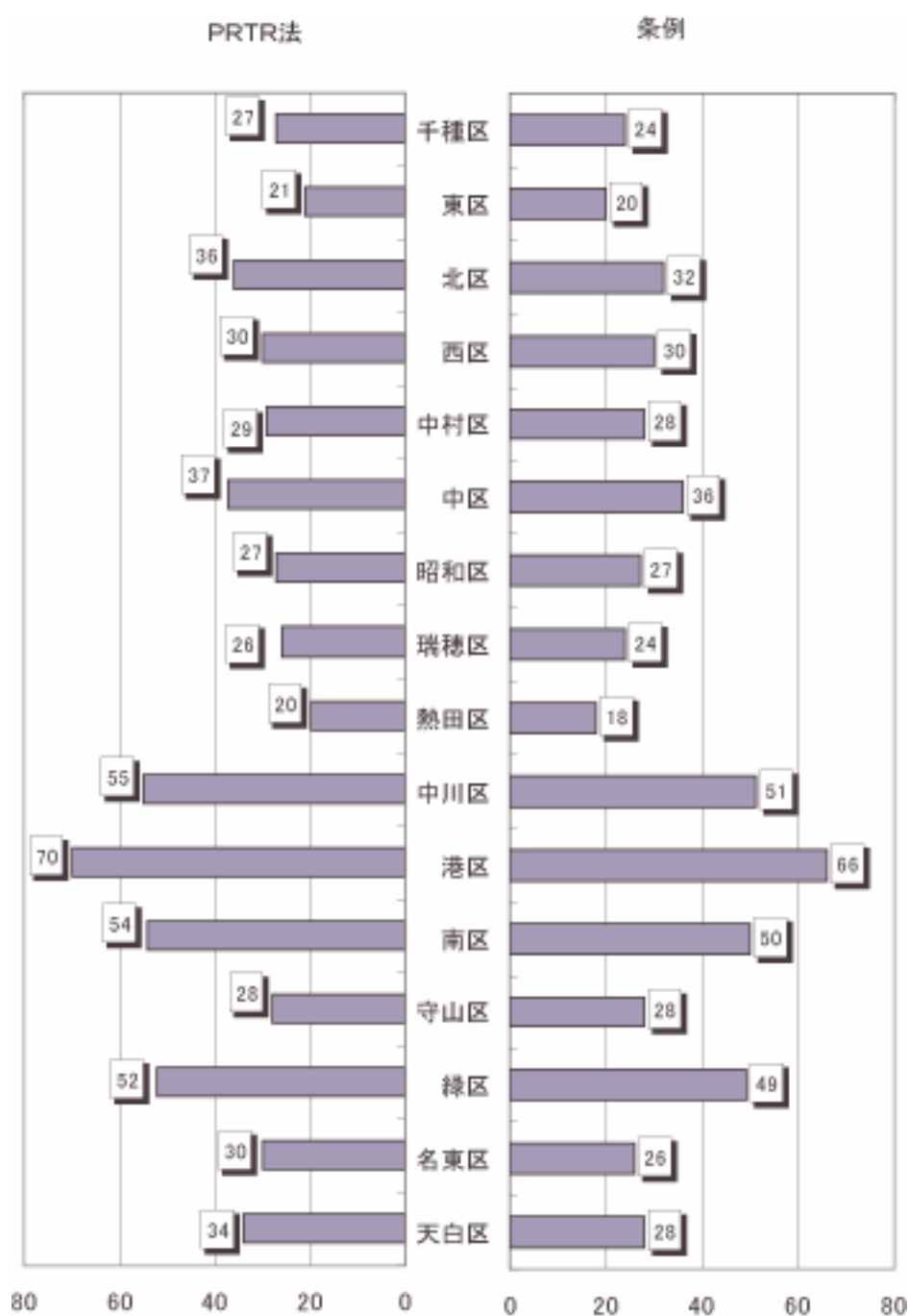
(2) 区別の届出集計結果

ア 区別の届出事業所数

区別の届出事業所数は、図 16 のとおりです。

届出事業所数の最も多い区は港区で、次いで中川区、南区の順となっています。一方、最も少ない区は、熱田区となっています。

< 図16 区別の届出事業所数 >



(事業所数)

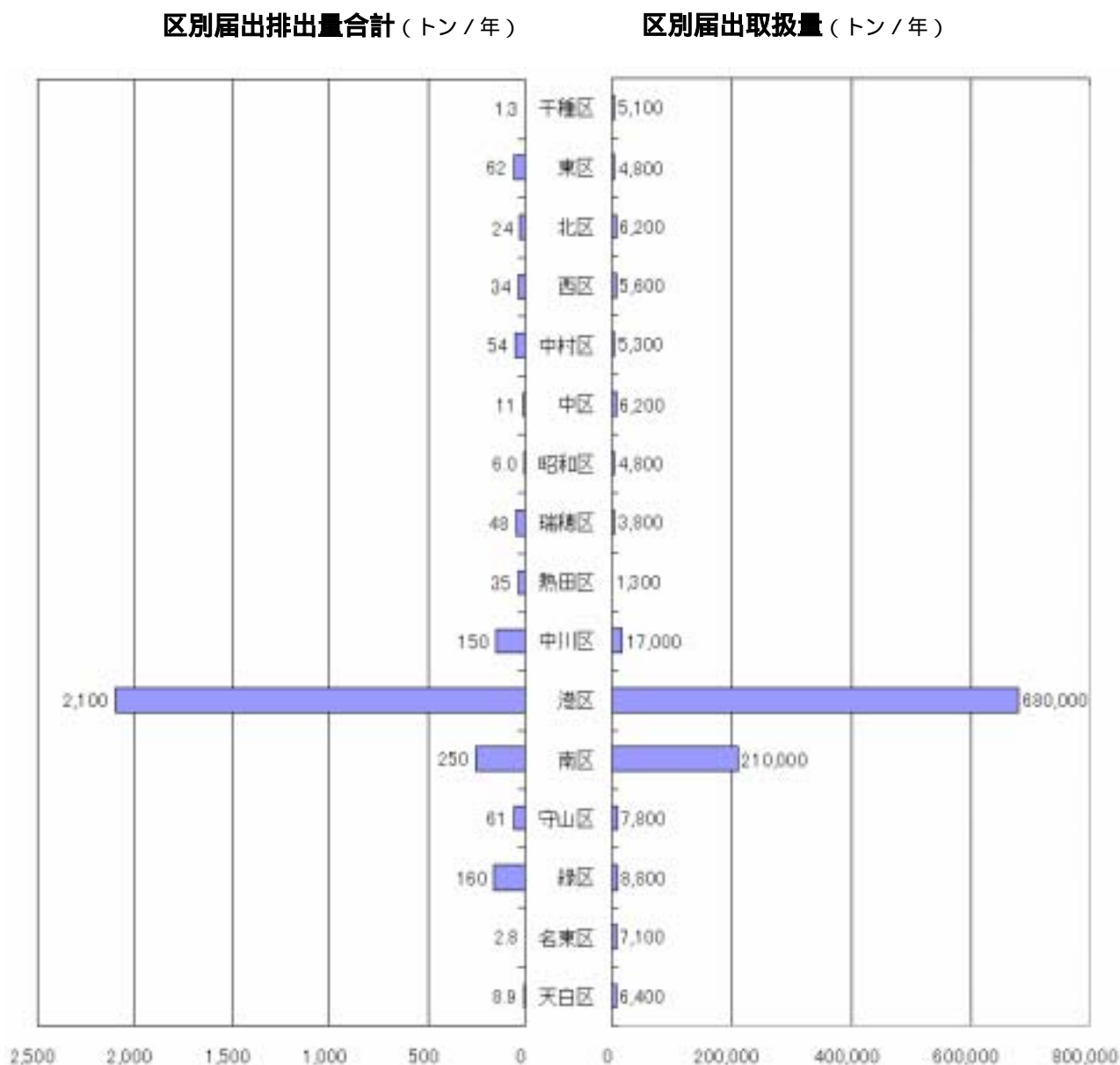
イ 区別の届出排出量及び取扱量

区別の届出排出量と届出取扱量は、図 17 のとおりです。

届出排出量は、港区の 2,100 トンが最も多く、市全体の 70%を占めます。次いで、南区の 250 トン、緑区の 160 トンの順となっています。一方、最も少ない区は、千種区の 1.3 トンとなっています。

また、届出取扱量は、港区の 680,000 トンが最も多く、市全体の 69%を占めています。次いで南区の 210,000 トン、中川区の 17,000 トンの順となっています。一方、最も少ない区は、熱田区の 1,300 トンとなっています。

< 図 17 区別届出排出量及び一事業所あたりの届出排出量 >



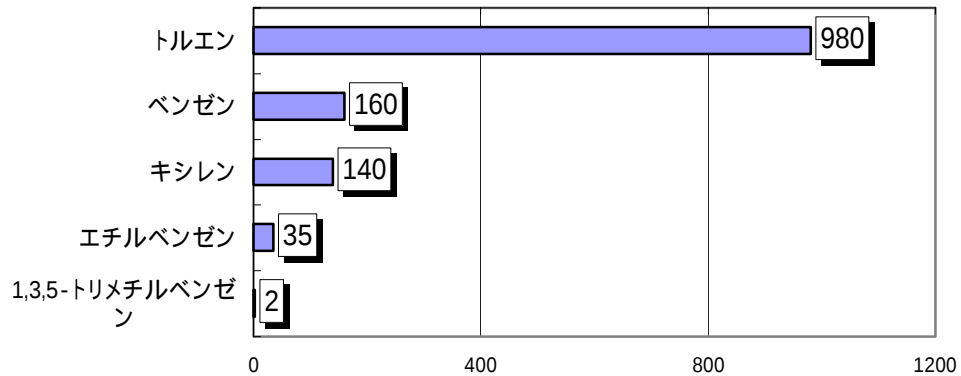
ウ 区別の届出排出量の多い物質

届出排出量の多い上位5物質とその排出量を区別にみると、次のとおりです。

a 千種区

排出量の多い上位5物質の排出量(千種区)

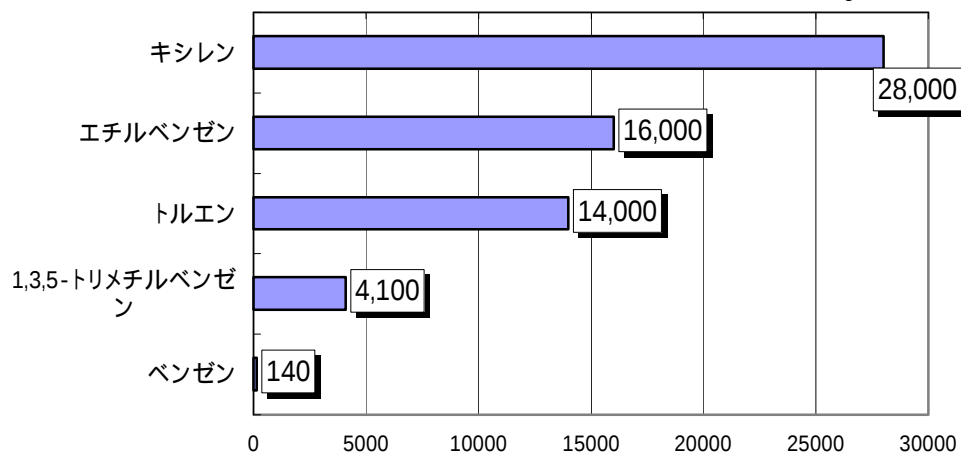
単位:kg / 年



b 東区

排出量の多い上位5物質の排出量(東区)

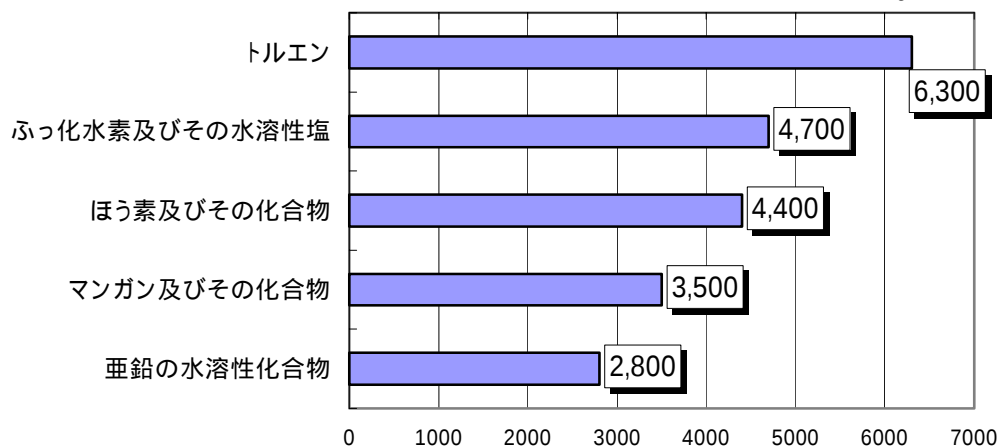
単位:kg / 年



c 北区

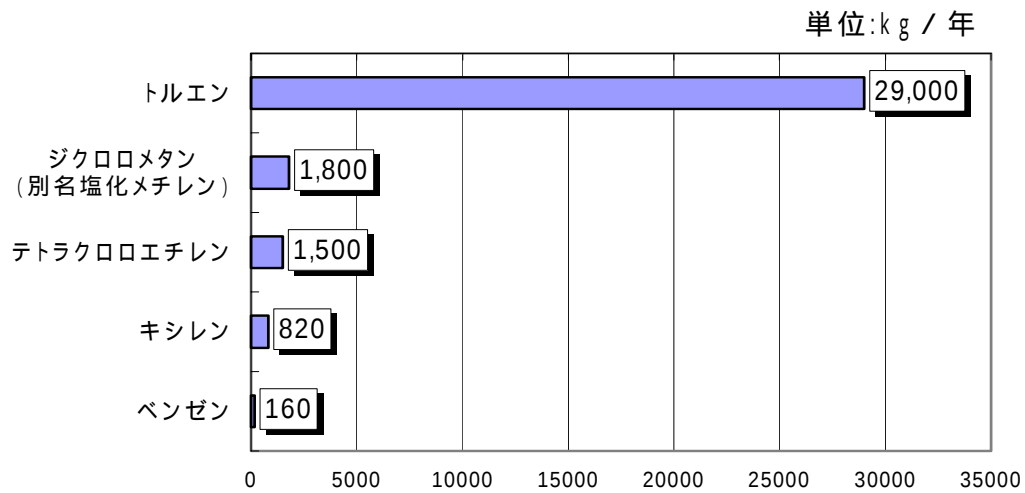
排出量の多い上位5物質の排出量(北区)

単位:kg / 年



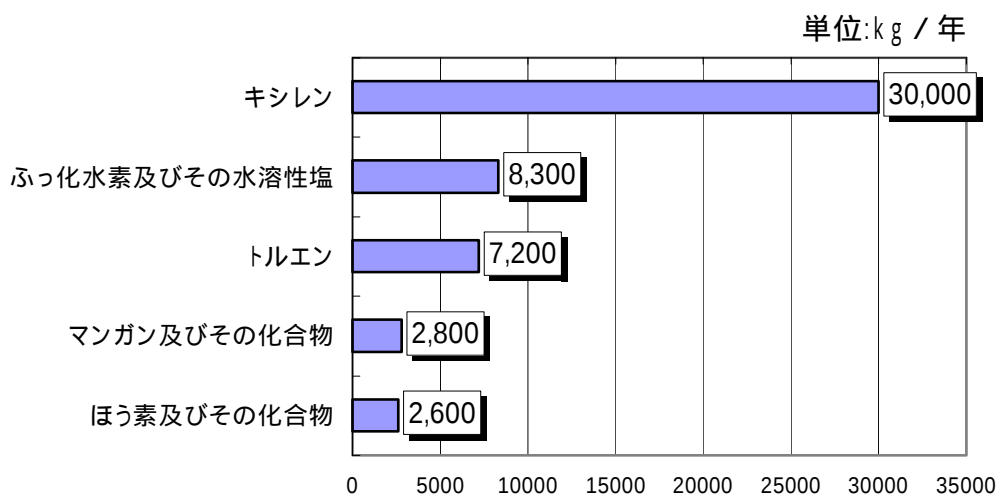
d 西区

排出量の多い上位5物質の排出量(西区)



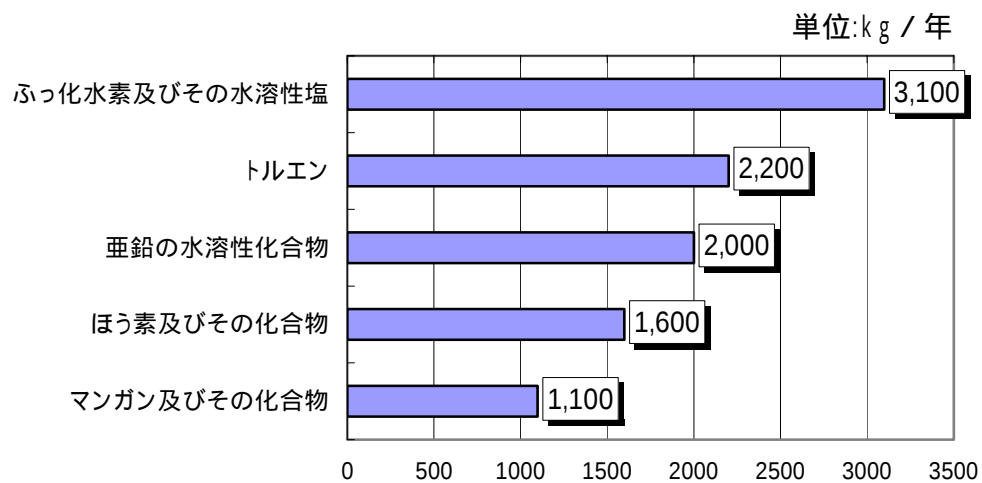
e 中村区

排出量の多い上位5物質の排出量(中村区)



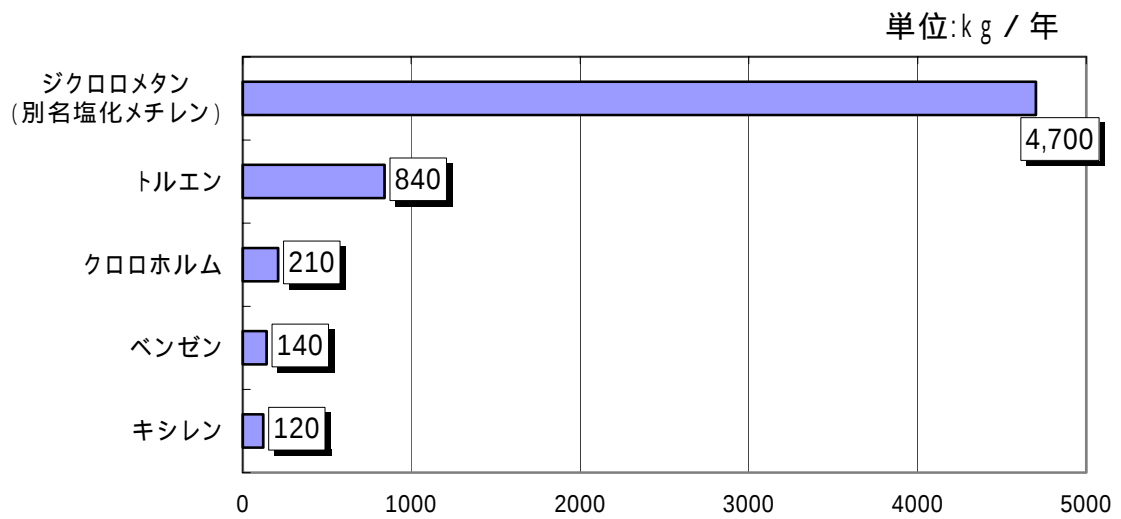
f 中区

排出量の多い上位5物質の排出量(中区)



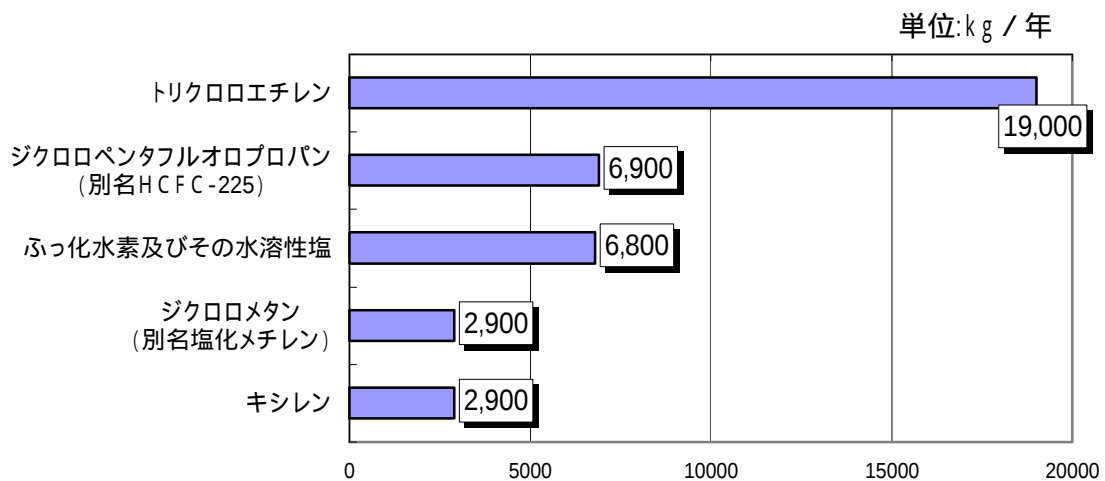
g 昭和区

排出量の多い上位5物質の排出量(昭和区)



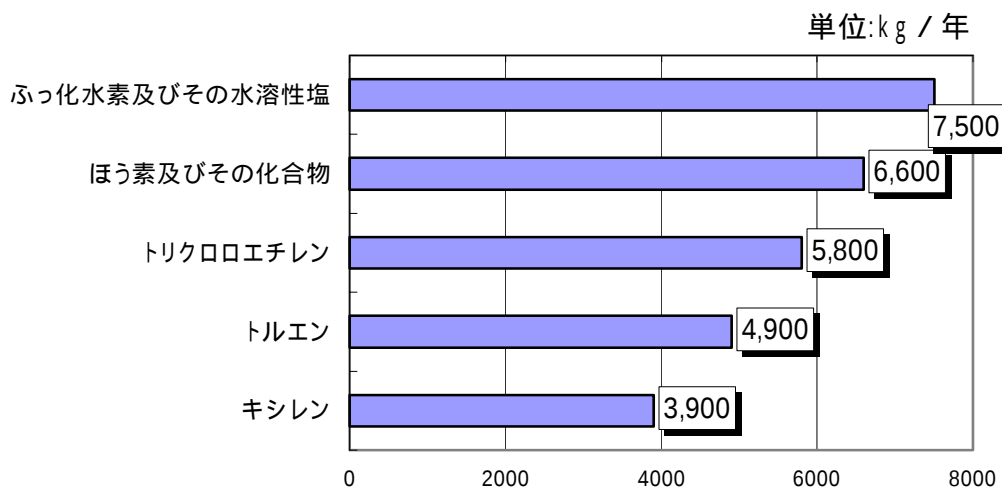
h 瑞穂区

排出量の多い上位5物質の排出量(瑞穂区)



i 熱田区

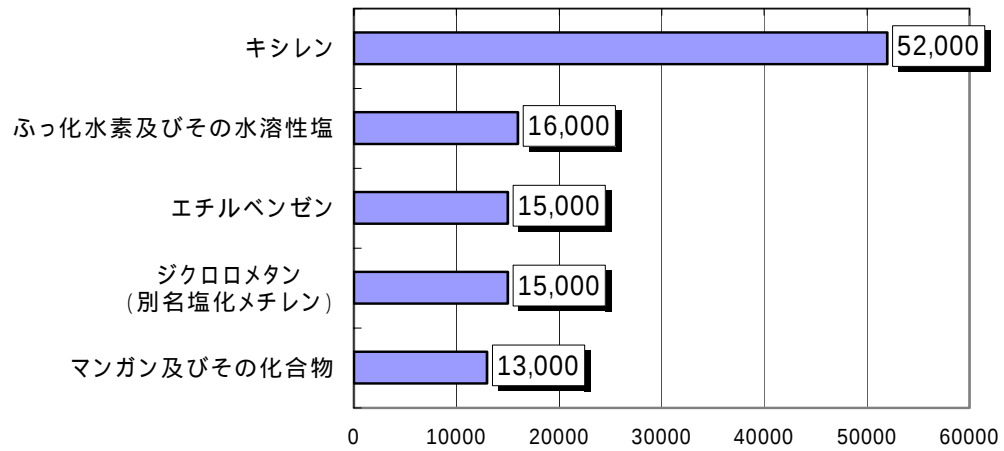
排出量の多い上位5物質の排出量(熱田区)



j 中川区

排出量の多い上位5物質の排出量(中川区)

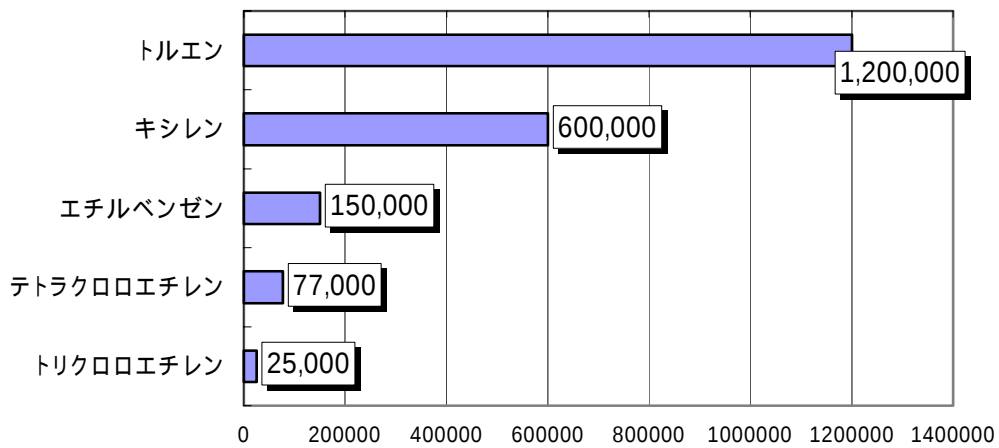
単位:kg / 年



k 港区

排出量の多い上位5物質の排出量(港区)

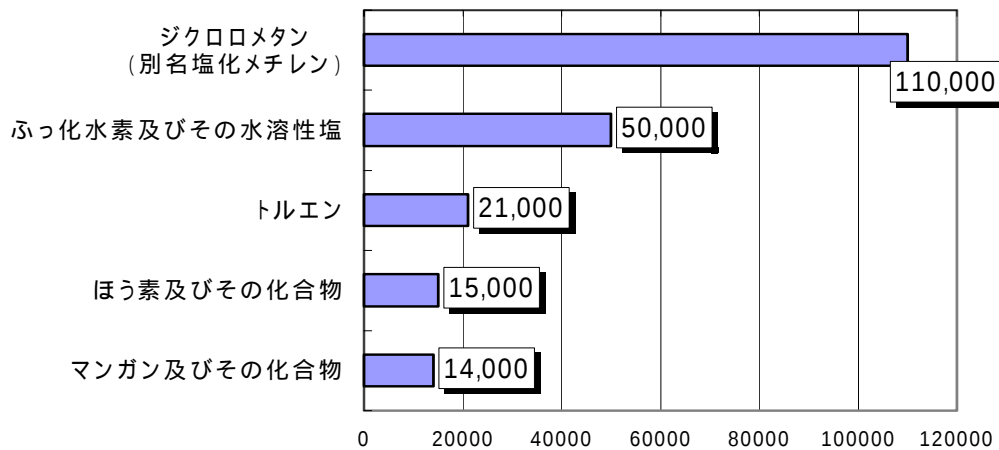
単位:kg / 年



l 南区

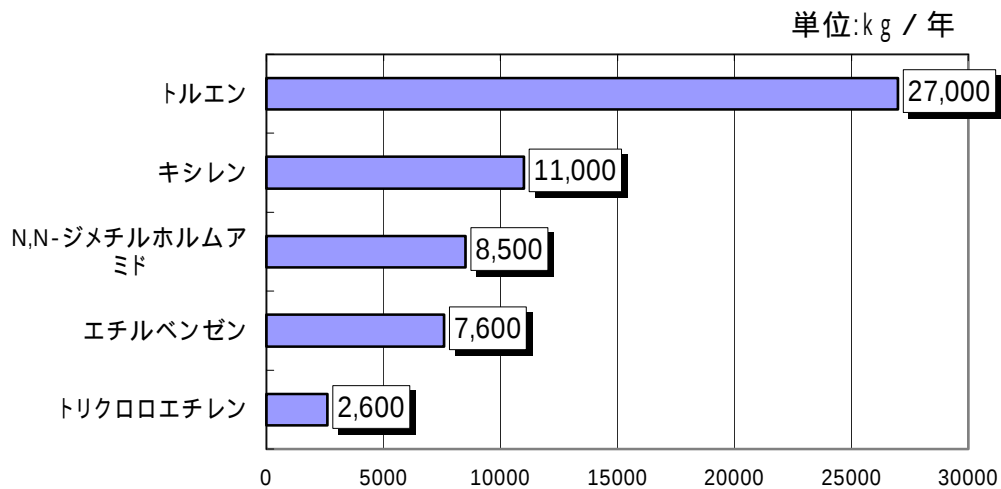
排出量の多い上位5物質の排出量(南区)

単位:kg / 年



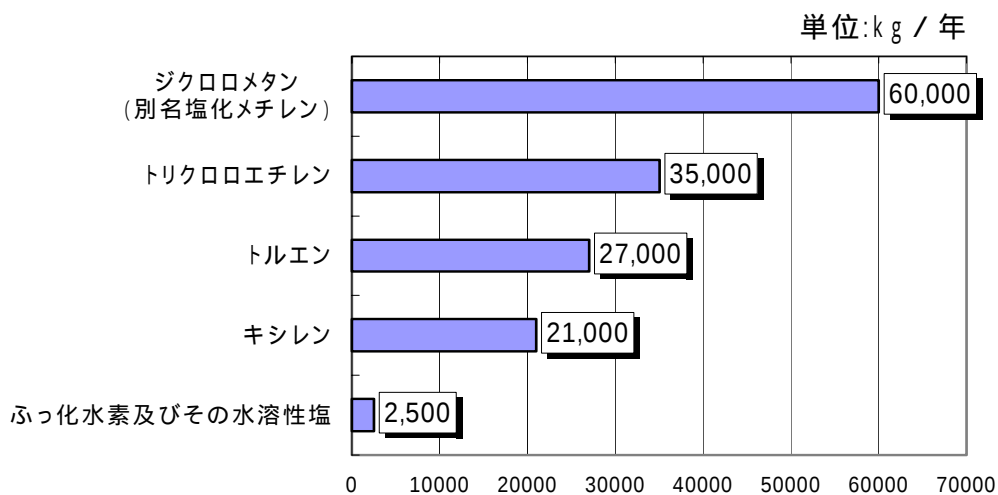
m 守山区

排出量の多い上位5物質の排出量(守山区)



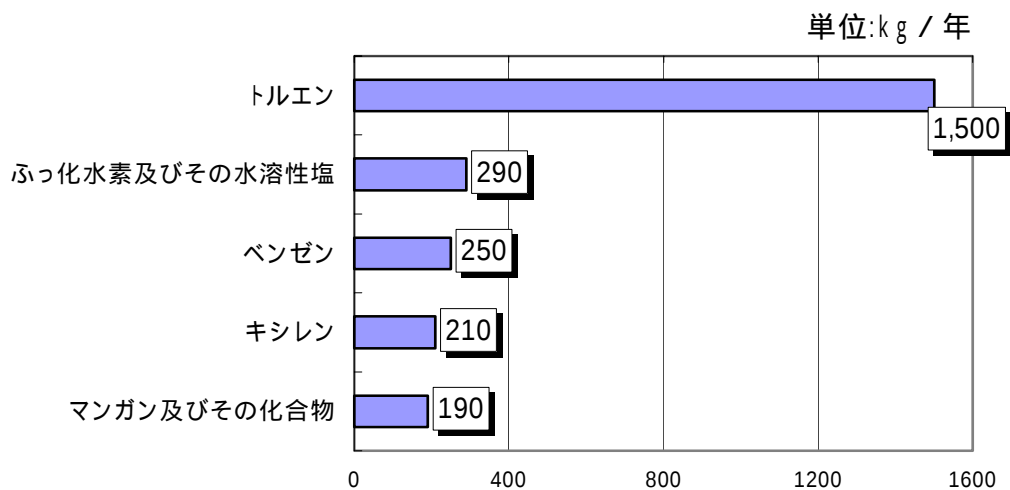
n 緑区

排出量の多い上位5物質の排出量(緑区)



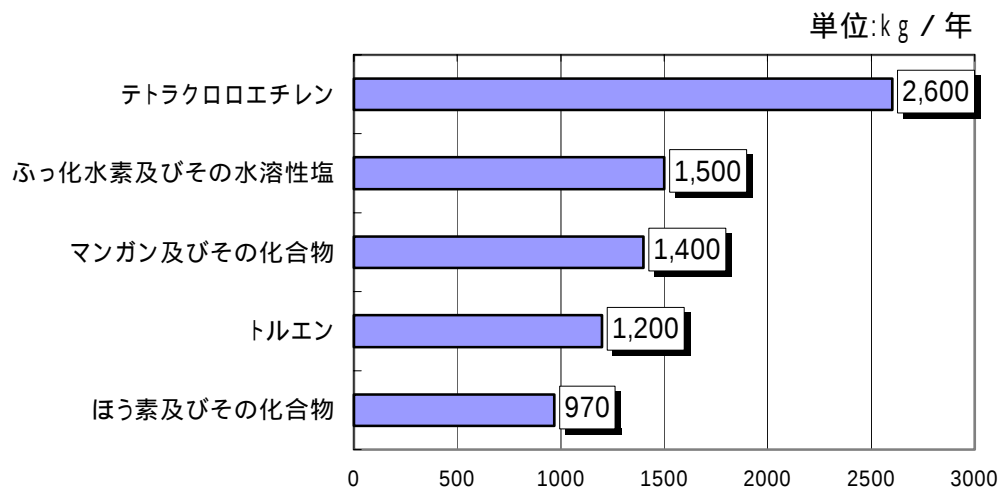
o 名東区

排出量の多い上位5物質の排出量(名東区)



p 天白区

排出量の多い上位5物質の排出量(天白区)

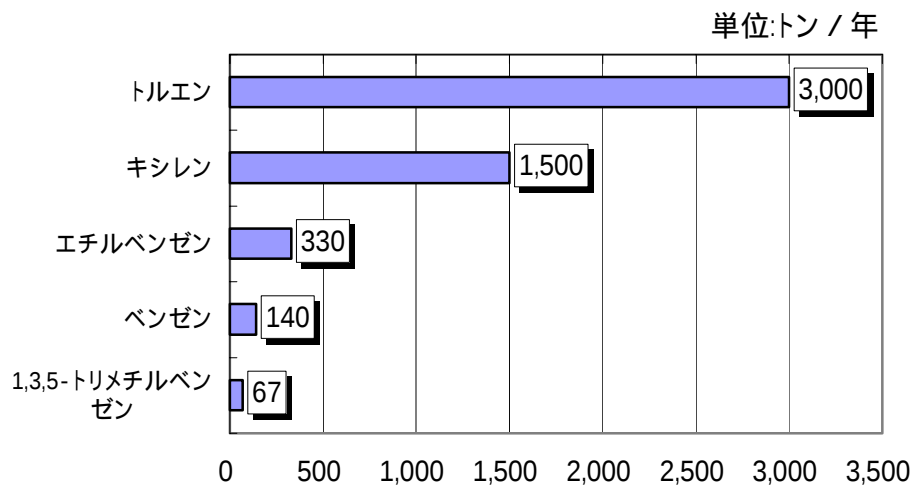


エ 区別の届出取扱量の多い物質

届出取扱量の多い上位5物質とその排出量を区別にみると、次のとおりです。

a 千種区

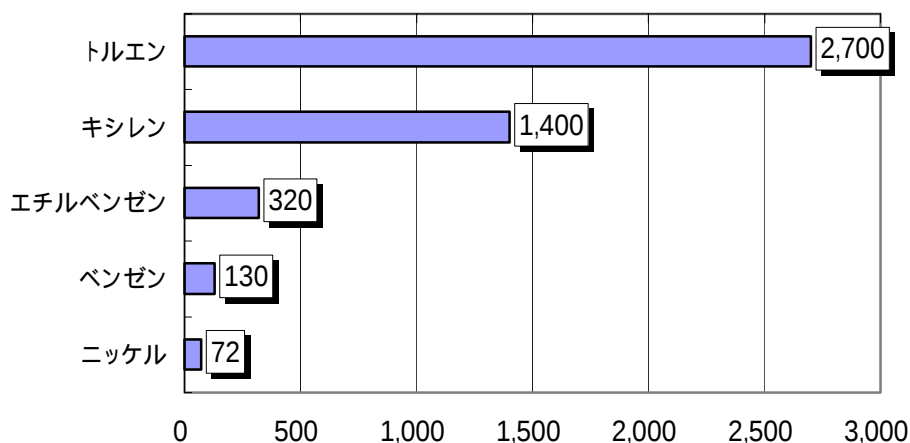
取扱量の多い上位5物質の取扱量(千種区)



b 東区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(東区)

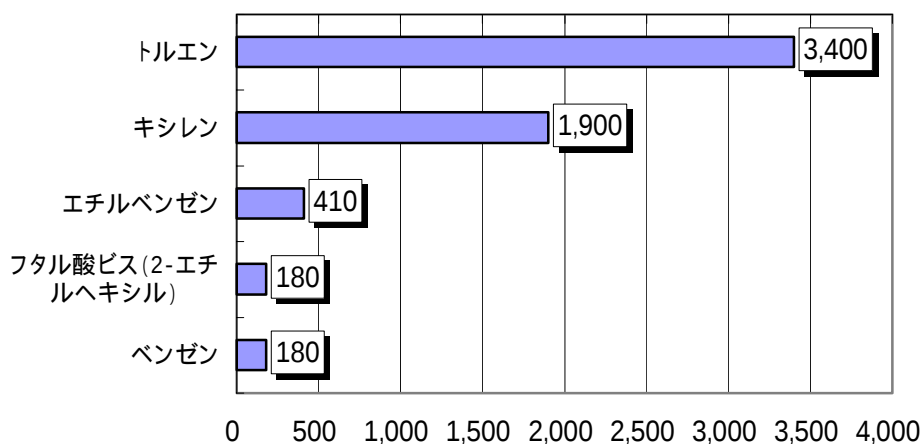
単位:トン/年



c 北区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(北区)

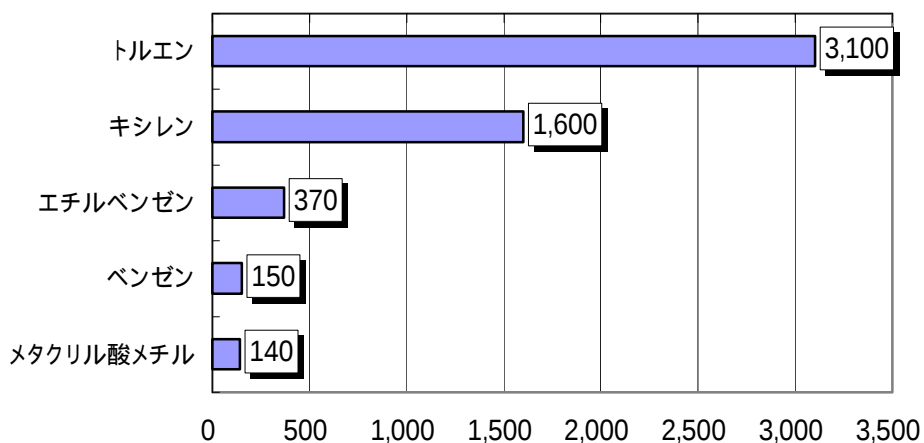
単位:トン/年



d 西区

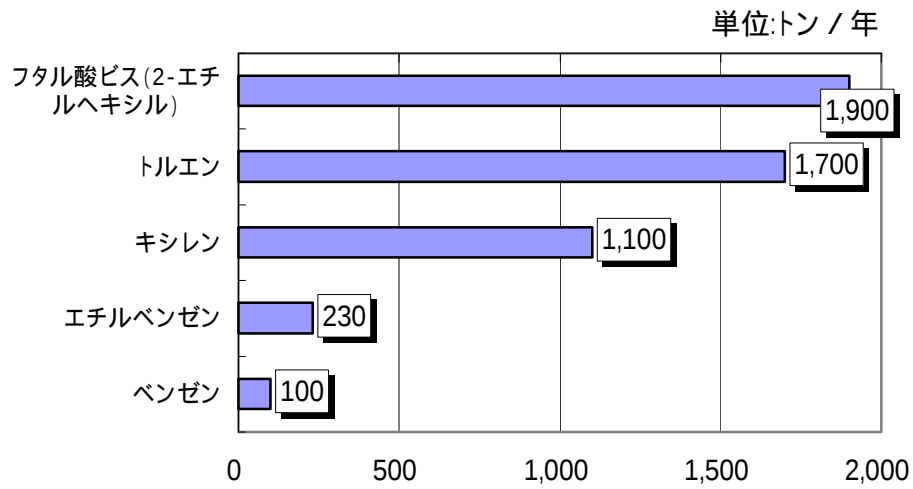
取扱量の多い上位5物質の取扱量(西区)

単位:トン/年



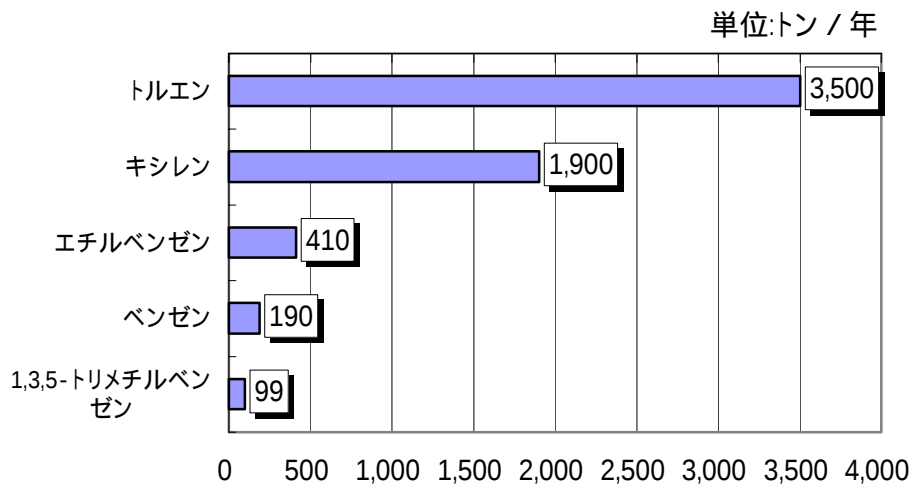
e 中村区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(中村区)



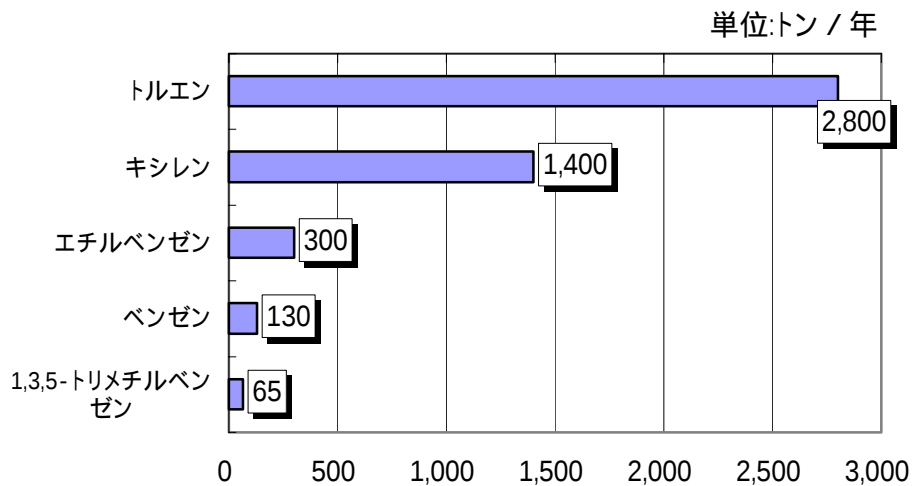
f 中区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(中区)



g 昭和区

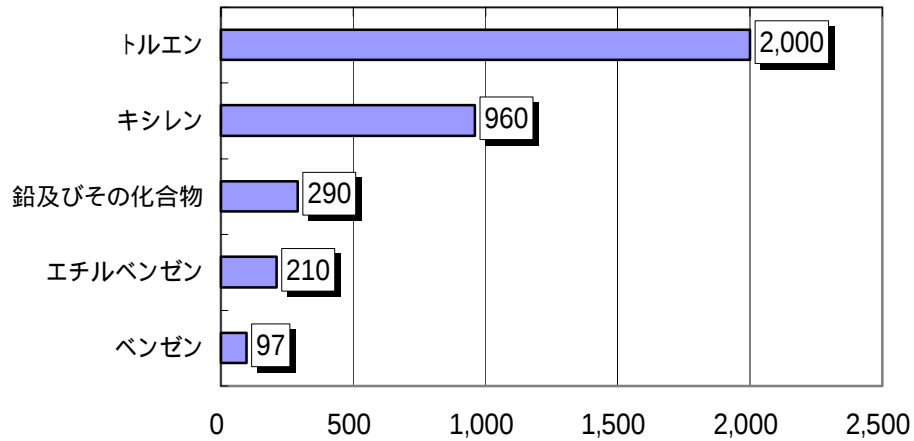
取扱量の多い上位5物質の取扱量(昭和区)



h 瑞穂区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(瑞穂区)

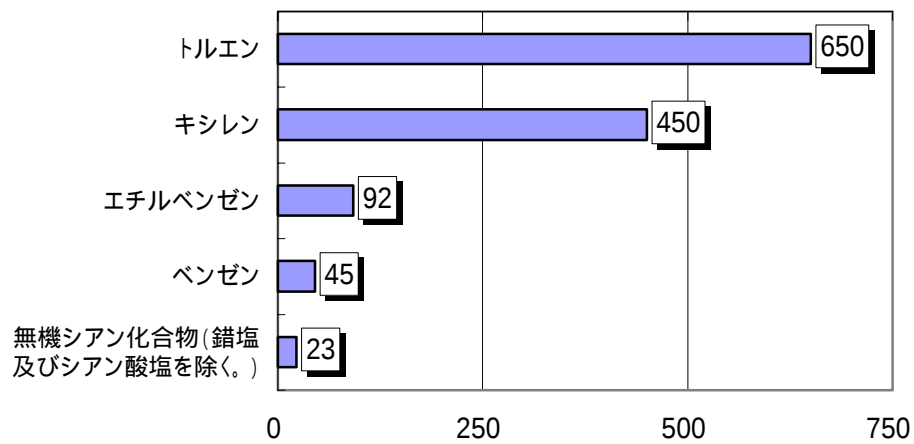
単位:トン/年



i 熱田区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(熱田区)

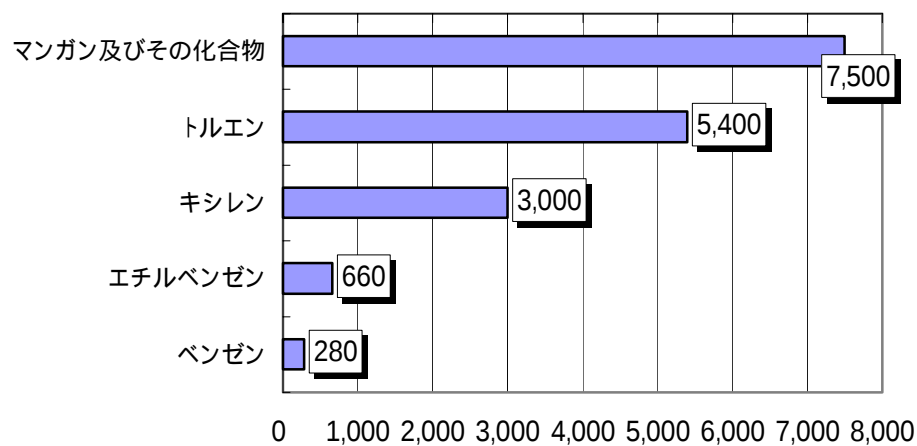
単位:トン/年



j 中川区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(中川区)

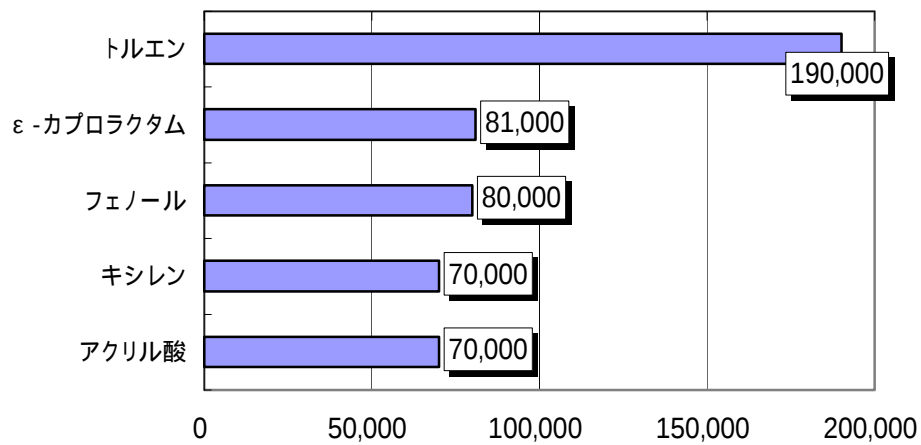
単位:トン/年



k 港区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(港区)

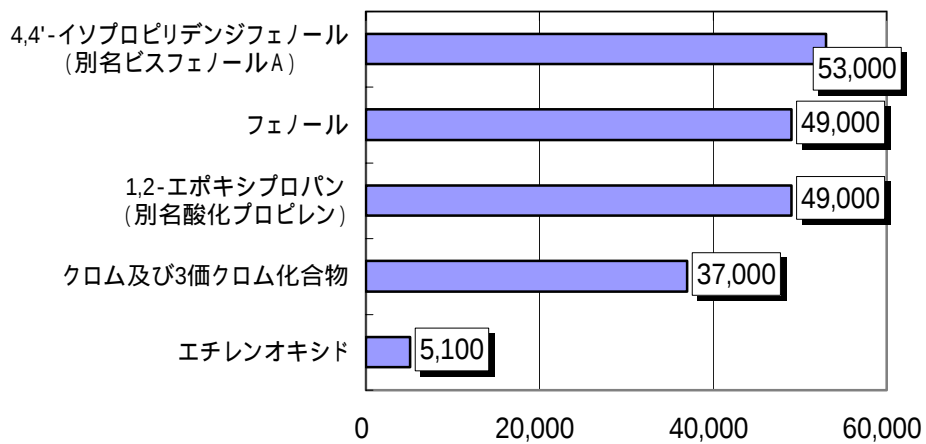
単位:トン/年



l 南区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(南区)

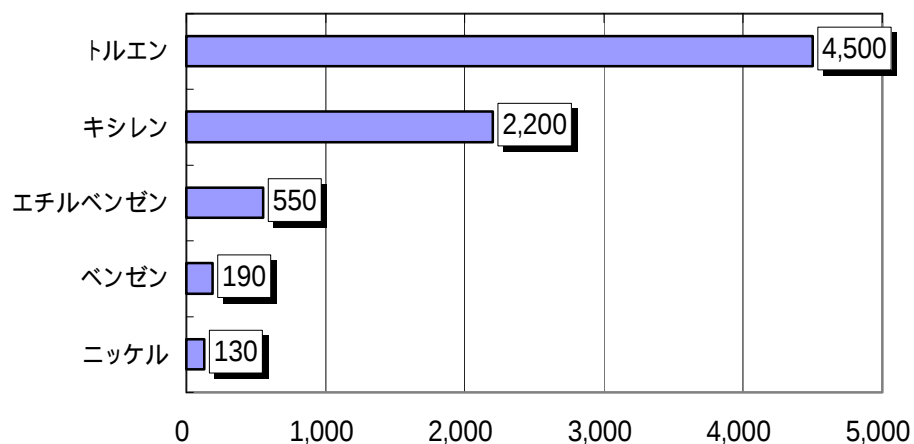
単位:トン/年



m 守山区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(守山区)

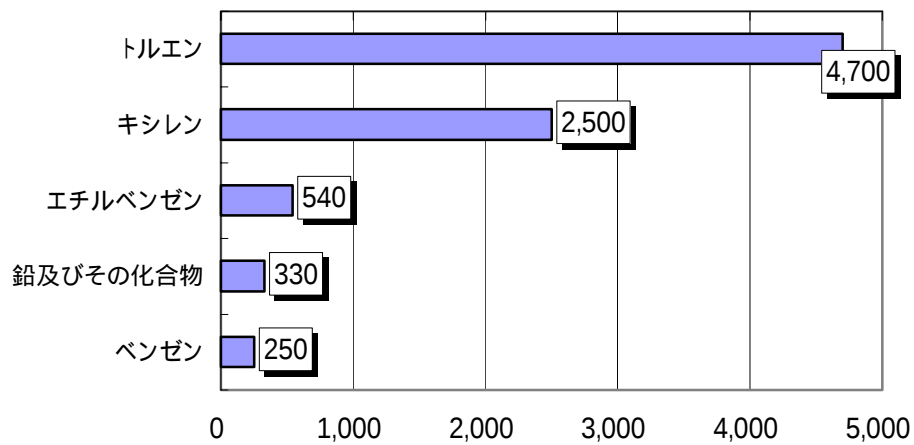
単位:トン/年



n 緑区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(緑区)

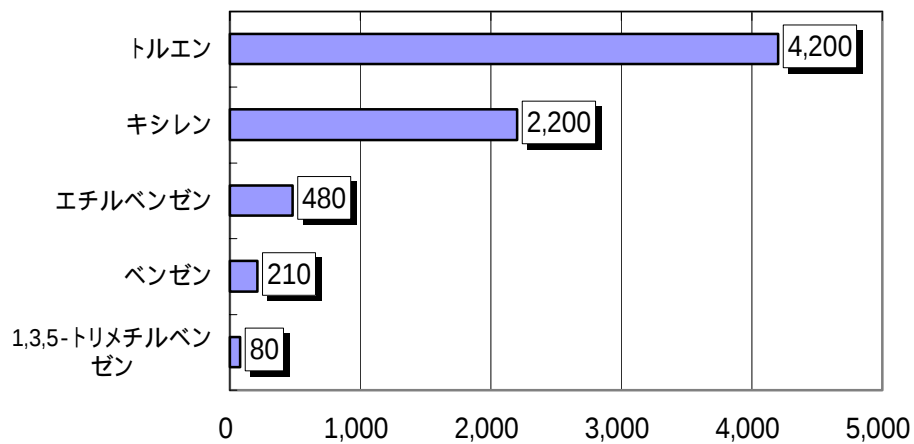
単位:トン/年



o 名東区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(名東区)

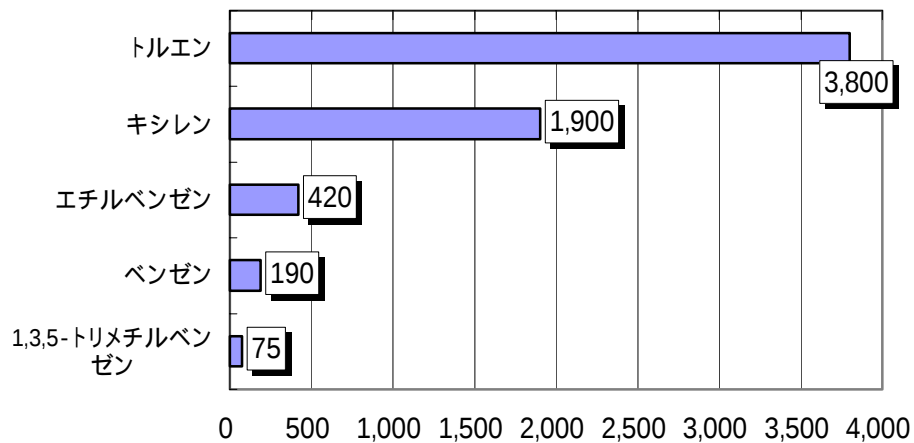
単位:トン/年



p 天白区

取扱量の多い上位5物質の取扱量(天白区)

単位:トン/年



3 その他

全国のP R T R集計結果、化学物質の用途や健康影響などをお調べになるには、下表の環境省ホームページを参照してください。

- P R T R集計結果をご覧になるには...

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/index.html>

- 化学物質の用途や健康影響などをお調べになるには...

環境省では、専門的で分かりにくい化学物質の情報を、専門家以外の方にもよく理解していただけるよう簡潔にまとめた「化学物質ファクトシート - 2004年度版 - 」を作成しています。こちらのシートをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>